



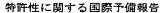
特 許 協 力 冬 約

PCT

特許性に関する国際予備報告(特許協力条約第二章)

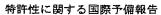
(法第12条、法施行規則第56条) [PCT36条及びPCT規則70]

出願人又は代理人 の書類記号 663954	今後の手続きについては、様式PCT/IPEA/416を参照すること。			
国際出願番号 PCT/JP03/11338	画際出願日 優先日 (日.月.年) 05.09.2003 (日.月.年) 06.09.2002			
国際特許分類 (IPC) Int. Cl. 'A61K31/4409, C07D213/89, A61K31/3324, A61P35/00				
出願人(氏名又は名称) 有限会社デ・ウエスタン・セラピテクス研究所				
1. この報告書は、PCT35条に基づきこの国際予備審査機関で作成された国際予備審査報告である。 法施行規則第57条 (PCT36条) の規定に従い送付する。 2. この国際予備審査報告は、この表紙を含めて全部で 4 ページからなる。 3. この報告には次の附属物件も添付されている。 a 附属書類は全部で ページである。				
4. この国際予備審査報告は、次の内容を含む。 X				
国際予備審査の請求書を受理した日 09.03.2004	国際予備審査報告を作成した日 02.07.2004			
名称及びあて先 日本国特許庁(IPEA/JP) 郵便番号100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目4番	渡辺 仁			



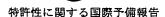
国際出願番号 PCT/JP03/11338

第Ⅰ欄	報告の基礎			
1. この国際予備審査報告は、下記に示す場合を除くほか、国際出願の言語を基礎とした。				
	この報告は、	oo.		
2. この報告は下記の出願書類を基礎とした。(法第6条(PCT14条)の規定に基づく命令に応答するために提出された差替え用紙は、この報告において「出願時」とし、この報告に添付していない。)				
X	出願時の国際出願書類			
	明細書			
	第 ページ、 第 ページ*	出願時に提出されたもの 付けで国際予備審査機関が受理したもの		
	第 ページ*、	付けで国際予備審査機関が受理したもの		
\Box	5th			
Ш	第 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	出願時に提出されたもの		
		PCT19条の規定に基づき補正されたもの		
	第			
	第 頃*、	刊りで国際で頒審登機関が受理したもの		
	図面			
	第 ページ/図、 第 ページ/図*、	出願時に提出されたもの 付けで国際予備審査機関が受理したもの		
	第 ページ/図*、			
	配列表又は関連するテーブル 配列表に関する補充欄を参照すること。			
3. 補正により、下記の書類が削除された。				
	り 明細書 第	ページ		
	請求の範囲 第			
	図面 第	ページ/図		
	□ 配列表(具体的に記載すること) □ 配列表に関連するテーブル(具体的に記載 ⁻	すること)		
4.	えてされたものと認められるので、その補正が	こ添付されかつ以下に示した補正が出願時における開示の範囲を超されなかったものとして作成した。 (PCT規則70.2(c))		
	明細書 第 請求の範囲 第			
	図面 第			
	配列表(具体的に記載すること)			
配列表に関連するテーブル(具体的に記載すること)				
* 4.	* 4. に該当する場合、その用紙に "superseded" と記入されることがある。			



国際出願番号 PCT/JP03/11338

第皿欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解の	り不作成
1. 次に関して、当該請求の範囲に記載されている発明の新規性、 審査しない。	進歩性又は産業上の利用可能性につき、次の理由により
国際出願全体	
X 請求の範囲 13-19	
理由: 区 この国際出願又は請求の範囲 13-19	
□ 明細書、請求の範囲若しくは図面(次に示す部分)又は請求の 記載が、不明確であるため、見解を示すことができない(具体	
全部の請求の範囲又は請求の範囲 裏付けを欠くため、見解を示すことができない。	が、明細書による十分な
X 請求の範囲	について、国際調査報告が作成されていない。
□ ヌクレオチド又はアミノ酸の配列表が、実施細則の附属書C のガイドライン)に定める基準を、次の点で満たしていない。	
書面による配列表が	提出されていない。 所定の基準を満たしていない。
コンピュータ読み取り可能な形式による配列表が	提出されていない。 所定の基準を満たしていない。
コンピュータ読み取り可能な形式によるヌクレオチド又はアミ Cの2に定める技術的な要件を、次の点で満たしていない。	: ノ酸の配列表に関連するテーブルが、実施細則の附属書
□ 提出されていない。□ 所定の技術的な要件を満たしていない。	
詳細については補充欄を参照すること。	



国際出願番号 PCT/JP03/11338

第V欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての法第12条(PCT35条(2))に定める見解、 それを裏付ける文献及び説明 見解 1. 新規性 (N) 請求の範囲 有 1-6, 8, 10-12 請求の範囲 進歩性(IS) 請求の範囲 右 請求の範囲 1 - 12産業上の利用可能性 (IA) 請求の範囲 有 1 - 1 2請求の範囲

文献及び説明 (PCT規則70.7)

国際調査報告には、以下の文献が示されている。

文献 1 / WO 95/27699 A1 文献2/Goodman and Gilman's THE PHARMACOLOGICAL BASIS OF THERAPEUTICS. -9th ed., 1996, p. 1225-1232, 1269-1271 文献 3 / IP 2001-261649 A

. 3には、請求の範囲1に記載の一般式(I)に包含される化合物が、悪 性腫瘍の治療剤として記載されている。

文献2には、癌の治療において、複数の化学療法剤を組み合わせて用いたり、放射線療法と化学療法を組み合わせることが記載されている。

請求の範囲1-6、8、10-12に記載された医薬は、文献1および3に記載された医薬と有効成分および治療対象疾患が同一であるから、両者は医薬の発明と しては同一である。したがって、これら請求の範囲に記載された発明は、PCT第 33条(2)に規定する新規性および進歩性を否定される。

一方、国際調査報告に示された文献には、請求の範囲7、9のように、式(Ⅰ)

で表される化合物と他の有効成分を含有する医薬組成物やキットは記載されていないから、PCT第33条(2)に規定する新規性を有している。しかし、文献2に記載されているように、悪性腫瘍の化学療法において、複数の化学療法剤を組み合わせて投与することにより、治療効果を高める方法はすでに知る。 られている。したがって、請求の範囲7、9に記載された医薬組成物等のように、 単に他の抗腫瘍薬と組み合わせて配合・キット化する程度のことは、当業者に自明 である。

したがって、請求の範囲7、9に記載された医薬組成物、キットは、 PCT第 33条(3)に規定する進歩性を有していない。